

第2回 実行委員会 開催レポート

8月20日、実行委員会をオンラインで開催しました。他団体との交流を深めながら、ワークショップを通じ「社会の変化に対応して活動を続けていける団体」になることを意識した出展内容の検討を深めました。

Topics 1

ワークショップを通じ、出展企画をブラッシュアップ!

今回は、「まちカフェ!」で実現したい企画をA4用紙に書く→企画への納得度をABCで表す→グループごとに共有・意見交換を行うというワークショップを実施しました。「イベントの集客を考えるなら、活動内容がわかる動画を作ってみては?」「似ているテーマを扱うので、この後企画も一緒に考えてみましょうか」といった意見が飛び交う、白熱した時間となりました。

サポートオフィスもみなさんと一緒に企画を考えました

- ① 町田市地域活動サポートオフィス
- ② 今後の協働事業の芽を育てる
- ③ 新しい団体との出会い 20事例
一緒にまちカフェ!企画 3事例
- ④ お見合いおぼん → 実行委員会 SNS

Topics 2

おうえん隊学生チーム×出展団体による「協働」を進めます!

「まちカフェ!」初の試みとして、おうえん隊学生チームが、団体の企画と一緒に考えるという取り組みを始めます。これは、おうえん隊として活躍している「へりぼーと」より、団体との協働企画の提案がきっかけとなって生まれたもの。学生は単なる「お手伝い」ではなく、団体や地域のニーズを捉えた企画の立案と実行を目指します。3つの希望団体と8名の学生おうえん隊のマッチングが成立し、顔合わせ後、本格的に取り組みがスタートします。今後の動きに期待が寄せられています。

町田市相原を拠点に地域活動団体をされている「へりぼーと」のみなさん



新しい「まちカフェ!」を一緒に作りましょう!

Next Schedule

次回の「まちカフェ!」実行委員会は、9月17日(木)に実施します。
参加団体・おうえん隊(ボランティア)募集中です!

https://machida-support.or.jp/news/machicafe10days_bosyu/



今月のコンテンツ

新型コロナウイルスの感染拡大の緊張が続きますが、町田でも感染予防対策を講じつつ「新しい生活様式」に合った活動の在り方を探る動きが次々と見られるようになりました。サポートオフィスでも社会状況の変化に伴い、負担感を抱えていたり新しい取り組みをされていたりするみなさんを引き続きサポートできればと願っています。今号では、その具体的な施策である〈みんなでコロナを乗り越えるぞ基金@町田〉や団体訪問レポート、セミナーやイベントの開催情報をお届けします。



Now! | 〈みんなでコロナを乗り越えるぞ基金@町田〉クラウドファンディング 実施状況のご報告

9月16日の最終日に向け、大詰めを迎えているクラウドファンディング。

たくさんのご支援・応援をいただきありがとうございます!

目標金額100万円の達成に向けて、あと一押しのご支援をよろしくお願いいたします。

クラウドファンディングで生まれた応援と感謝の連鎖を広げたい!

クラウドファンディングを実施する中で、驚き、うれしかったことがあります。それは、応援メッセージだけでなく感謝の気持ちをお寄せいただいたこと。SNSでシェアする際に「感謝です」と書きそえてくださった方、「参加させてもらってありがとうございます」というコメントを支援と一緒に寄せくださった方などがいらっしゃいました。このお礼は、私たちを通じて現場で奮闘している

方々へ伝えたいメッセージなのだと思います。また、それはその先の困難を抱えている人を想像するからこそ生まれた言葉なのではないかと感じています。私たちが応援していただけることはもちろんうれしいですが、クラウドファンディングがさらに想像力の一つ先へ広げるきっかけになれるよう、残りの期間も発信を続けていきます。引き続きよろしくお願いいたします。

みなさまからお寄せいただいたご支援は、市民活動の活動資金として活用されます!



〈みんなでコロナを乗り越えるぞ基金@町田〉
実行委員会
喜田亮子

支援者様からお寄せいただいた応援コメント

- コロナを乗り越えた先に魅力のあるまちにしていけるために、みんなで力をあわせていきましょう。
- まちのやさしさを引き出す取り組みですね。やさしいまち“だ”になりますように!
- 微力ではあっても無力ではないと信じて応援しています!
- 将来は町田市役所職員になって町田市をサポートしていきたいと考えている大学生です!少しでも力になればと思います支援させていただきます! 応援しています! 頑張ってください!
- 素晴らしい多くの地域活動のためにぜひ頑張ってください!
- それぞれの人々がそれぞれの活動を地域で持続することこそが、街の未来を作り、魅力となっていくのだと思います。会って話して、街を歩いて、今できることを続けていきましょう。



クラウドファンディングについて 9月16日(水)まで実施!

みなさんからご支援いただく100万円で、町田の市民活動に最大10件(1団体あたり最大10万円の助成とした場合)の支援ができます。目標金額100万円に向け、あたたかいご支援をお願いいたします!

<https://camp-fire.jp/projects/view/305818>

ご支援の詳細はこちら



活動資金助成について 9月1日(火)より募集開始!

〈みんなでコロナを乗り越えるぞ基金@町田〉の助成対象は公募とし、外部有識者による選考で決定します。公募詳細は下記でご案内しています。活動資金を必要と感じている団体のみなさまからの応募をお待ちしています。

<https://machida-support.or.jp/news/coronagrantsinfo/>

公募の詳細はこちら



Visit

01 昭和薬科大学 地域連携センター

一歩踏み込んだ地域貢献・社会貢献の実現を目指す

昨年、町田市と包括協定を締結した昭和薬科大学に〈地域連携センター〉ができたというニュースを聞き、さっそく訪問。センター長の吉永先生は、次のように意気込みをお話くださいました。
「今までも学園祭、公開講座、学内の薬用植物園の開放などを通じて、市民のみなさん、とりわけ近隣の地域住民の方々との接点を持つことに努めてきました。しかし、薬や医療に関する専門知識や経験を通じて、もう一歩踏み込んで地域・社会に貢献したいと願い、2020年4月に地域連携センターを立ち上げました。今後、地域連携を通じ“学内にとどまらない学びの機会や場”を学生に提供する機能も担いたいと考えています」

若い学生のパワー、教員の多様な専門分野における知識や技術、そして充実した施設を生かした企画の実現に向けて準備を進めているとのこと。サポートオフィスとしても、地域連携を応援していきたいと思います。



地域連携センターのみなさん

団体プロフィール

名 称 昭和薬科大学 地域連携センター
所 在 地 東京都町田市東玉川学園3丁目3165番地
H P <https://www.shoyaku.ac.jp/>
お問合せ 042-721-1511 (担当:谷口)



Visit

02 NPO法人クローバーの会

コロナ禍でもゆるぎない「働く場」の継続と新たな取り組み

クローバーの会は、障がいのある方の働く場。リサイクルバザーや自主製品作りを行っています。主力商品は、全国から寄付された古い着物で作る布草履や色鮮やかな織物。コロナ禍では、利用者さんのニーズにあわせ、短時間通所や在宅ワークなどを組み合わせた活動を継続しているそうです。

4月以降大きな打撃となったのは、バザー等販売の場が軒並みなくなったこと。大きな収益減となり利用者さんの工賃の支払いに影響、同時にお客さんと直接話し、仕事の誇りを感じる重要な「場」が失われてしまったとスタッフの方がお話しくださいました。しかしそこで諦めず、ネット販売に初チャレンジされたとも。今後更に改善し、売り上げを伸ばしていきたいと力強くお話しされていました。働く場の継続は、誰にとっても切実な課題です。特に、変化への対応が苦手な方にとっては、コロナ禍でも働く場が継続していく意義を強く感じます。

利用者が丹精込めて作り上げます



団体プロフィール

名 称 NPO法人 クローバーの会
所 在 地 東京都町田市本町田2507-4 町田木曾住宅ハ-16-103
H P <http://clover-club.sakura.ne.jp/>
お問合せ 042-791-3357



Event Report 01

2020年7月28日(火) まち“だ”づくりサロン 「子どもにやさしい町田」を市民の視点から考える ～ユニセフこどもにやさしいまちの取り組みをヒントに～

前半では3人のゲストスピーカーに登壇いただき、子どもを主体とした取り組みの最新動向や事例をお話しいただきました。
後半は、参加者とゲストがグループに分かれ、それぞれの活動や想いをシェアしながら、「子どもにやさしい町田」について考えを深めました。

子どもにやさしい まちづくりの動向

CFCI委員会委員
昭和薬科大学教授
吉永真理氏

町田市も参加しているユニセフこどもにやさしいまちづくり(CFCI)設立背景やその活動内容を解説。「子どもにやさしいまちづくり」を考え実行に移すとき、その行動は、子どもだけではなく高齢者や障がい者をはじめ、全ての人にとってのやさしい地域社会につながっているというお話が印象的でした。

子どもにやさしいまち モデル都市 町田市の取り組み

町田市政策経営部
企画政策課
吉川亮平氏

町田市がCFCIに関わる経緯と同行した〈ユニセフこどもにやさしいまち世界サミット2019(ドイツケルン)〉でのエピソードや町田市の取り組みを報告。「自戒を込めてですが、子どもと議論をする大人の余裕づくりも大切ですよ」というお話に、多くの参加者が大きくうなずかれていました。

主体は子ども—子どもにやさしいまち— ユニセフのシンポジウムと町田市の取り組み

せりがや冒険遊び場プレーリーダー
町田市福祉のまちづくり推進協議会委員
岡本恵子氏

〈ユニセフこどもにやさしいまち世界サミット2019〉報告会での気づきや、こども主体の取り組み事例等を発表。「〈子どもの未来のために〉という言葉は聞くが、私たちはまず〈子どもの未来〉の根本にある〈子どもの今〉を充実させるためにサポートをすべきではないか」というお話に引き込まれました。

参加者から お寄せいただいた声

- 素晴らしい会でした。各発表者の話をもっとかみしめて聞きたかった！
- 3人の登壇者、それぞれとても参考になるお話でした。グループの話も充実していました。
- 参加者同士の交流が盛り上がったので、もう少し時間があたらな。

Event Report 02

2020年6月25日(木)～10月22日(木) 計5回実施 団体の事業計画をつくる伴走型連続講座「まち“だ”づくりカレッジ」(2020年 第1期)

団体がめざす地域や社会の姿を見据えた「未来志向の事業計画」を立てることをゴールとし、講義に加え、グループワークや課題提出、発表やフィードバックなどにより学びを深める参加型・対話型の連続講座です。講師は、当法人事業統括ディレクター長浜洋二が担当。
8月27日に第3回を終え、団体間の関係性もまた一歩深まってきました。単に事業計画を作るのではなく、成長し合えるコミュニティが生まれることもゴールに据えた本講座。今後も団体間の学びあいの時間を多くとり、楽しみながらも切磋琢磨できる講座を提供していきたいと思っています。



ワークショップで描いた団体の未来ビジョン

参加者から お寄せいただいた声

- 様々な世代や分野の団体に参加しているので、普段は出会えないリアルな声にいい刺激を受けています！
- 取り組んできた課題に対する共有時間では、たくさんの質問や意見をいただき発想が広がると共に、団体の在り方について改めて考える機会となっています。

Check! 10月22日(木)
2020年 第2期 開講決定!!

2020年第2期の募集を開始しました！団体のスキルアップの機会に活用してください。
詳しくは以下のURLをご確認ください。
<https://machida-support.or.jp/event/colleage2020-02/>

